

第 35 回長野市地域公共交通会議 議事概要

- 1 開催日時 令和 3 年 11 月 18 日（木） 10 時 00 分～10 時 25 分
- 2 開催場所 長野市役所第二庁舎 10 階 会議室 203
- 3 出席者 出席委員 17 人、欠席委員 1 人
- 4 次第
 - 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 協議事項
 - (1) 中心市街地循環バス「ぐるりん号」の運賃改定について
 - (2) 廃止路線代替バスの運賃改定について
 - (3) 地域間幹線系統の運賃改定について
 - 4 報告事項
 - (1) 書面協議の結果について
 - 5 そ の 他
 - 6 閉 会
- 5 議事概要

【3 協議事項】

- (1) 中心市街地循環バス「ぐるりん号」の運賃改定について

[資料 1 に基づき事務局より説明]

質問・意見なし ⇒ 原案どおり決定

- (2) 廃止路線代替バスの運賃改定について

[資料 2 に基づき事務局より説明]

質問・意見なし ⇒ 原案どおり決定

- (3) 地域間幹線系統の運賃改定について

[資料 3 に基づき事務局より説明]

<意見>

(A 委員)

協議事項全てにおいての要望となるが、今回の改定については民間事業バスと市営バスの競合は避けるべきで、公共交通軸を守るために致し方ないと思う。

ぐるりん号に関していうと、ルートを変更したのちにコロナ禍で利用者が大きく減少した。ぐるりん号の果たしている役割、利用者の目的がどう変化しているのかを探っていく必要があるので、機会があれば調査をしてほしいと思う。

今回の運賃改定によって利用者がどの程度変動するのかを把握しておく必要がある。今後も運賃改定するとき利用者がどうなるのか、収支のバランスがどうなるのかをバス路線・サービスを定めるに当たり重要になってくる。

今まで運賃改定した中で利用者がどう変動したのかを詳細に把握していなかったと思うので、今回中心市街地、特に長野市中心拠点になる広域交流拠点での料金の変更なので、人の利用がどうなるかを把握する必要があると思う。

くるるで把握できるところもあるが、全てがくるる利用者ではないので、バス事業者でもバス停間の利用者数、最低でも乗降数の変化をとらえてもらえたらと思う。

(事務局)

市としてもぐるりん号がどのように変化していくかをとらえる必要があると考えている。コロナの影響がどこまで落ち着いていくか、また中心市街地の変化もあるので、その辺りも踏まえつつどのような形でできるかをバス事業者と連携しながら対応したいと思う。

(B委員)

だいぶ前から乗って残そう公共交通といって守っていこうといていた。ガソリンがずいぶん高くなり、これからもいろいろなものが値上がっていくときに、大事な公共交通なので残したいという思いは皆さん持っているが、値上げが続くと高齢者にとっては負担がきつい。これ以外の路線にも値上げなどの計画はあるのか。

(事務局)

現行長野市で委託をしている路線に関しては具体的な検討に入っていることはありません。

その他の質問・意見なし ⇒ 原案どおり決定

【4 報告事項】

【5 その他】

【6 閉会】